



広報 なかわだ

第427号

2015年11月1日

2015年11月

中和田カトリック教会
広報委員会

泉区中田北1丁目9-1 Tel. (045) 803-6141
<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

主の平和

フランシスコ・ザベリオ 日野 武満 神父

カトリック教会は11月を死者の月として、神の国に召された人々に祈りを捧げ、また私達のために神に取りついでくださるよう願います。

先月にはこの教会の信徒3人が召され、永遠の命を与え、主に大勢の人々がお祈りに参加しました。高齢化が進む社会現象に伴い、健康を与えられて100才を目的にして、次の世代に信仰、経験を受け渡すことが目安となつて、お互いに祈りあい、語りあい、励ましあうために、教会はもっと機会と場所、祈り、知識、趣味等を通して楽しい憩いの場所となるように高齢化した司祭として切に願ってやみません。



日	曜	典 礼 (ミ サ)	備 考	そ の 他
1	日	主日ミサ (9:00)	諸聖人[祭]	
2	月	週日ミサ (9:30)	死者の日	
4	水			聖書の分かち合いと祈りの会 (10:00)
6	金	初金ミサ (9:30)		
7	土			湘南キリスト教セミナー
8	日	主日ミサ (9:00)	年間第32主日 (七五三祝福)	教会委員会
9	月	祝日ミサ (9:30)	ラテラン教会の献堂[祝]	
11	水			聖書の会 (10:00)
13	金	週日ミサ (9:30)		
15	日	主日ミサ (9:00)	年間第33主日	原宿教会で3教会合同ミサ (11:00七五三祝福)
18	水			聖書の会 (10:00)
20	金	週日ミサ (9:30)		
22	日	主日ミサ (9:00)	王であるキリスト[祭]子どもミサ	
25	水			聖書の会 (10:00)
27	金	週日ミサ (9:30)		
29	日	主日ミサ (9:00)	待降節第1主日	服部剛氏の講演会
30	月	祝日ミサ (9:30)	聖アンデレ使徒[祝]	

第5地区ピックアップ

横浜教区は全部で16の地区に分けられ、そのうち神奈川県には7地区があり、中和田教会はその第5地区に属しています。各地区には共同宣教司牧委員会が置かれています。この委員会については、先の8月号に岩淵委員長が詳しく説明して下さっていますので、ご覧になってください。現在は、勉強を兼ねて岩崎が出向かせていただいておりますが、その活動状況をフィードバックさせていただくために、機に応じてこの欄にてお知らせしていくことにいたしますので、目を通していただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

まずは、去る9月26日～27日には、全16地区から地区代表が集まり、梅村司教様を囲んでの「教区懇談会」が行われました。今年のテーマは「地区における3部門の活動」でした。その際の報告はまだ頂いておりませんが、第5地区としては、若者の教会離れのことや、家庭での信仰教育の大切さ、また今まで避けてきた自死やひきこもりにも目を向けようといったことなどの課題が提供されました。

当面の具体的な活動としては、11月7日(土)に当教会で開催される「湘南キリスト教セミナー」と、来年2月に予定されている「祈りのワークショップ」などがあります。皆様の積極的なご参画をお願いいたします。(岩崎 好愛)

～ 中和田の風 ～

「友愛」

－ 高齢者の居場所作りを目指す －



当教会で長年財務を担当しておられる甲斐至信さん（84才）にお話を伺いました。

▲何歳の頃、どのような経緯で洗礼を受けられましたか？

⇒たまたま勤めていた会社の先輩と話す機会があり私の兄弟が新教の教会に通っていることを話したら、その先輩が所属している戸部カトリック教会のミサに連れて行ってくれました。導かれるままにスペイン人神父様から公教要理の教えを受け1953年22才の時に洗礼を受けました。

▲定年退職後、泉区社会福祉協議会でお仕事をなさっていると伺いました。どのようなことをなさっているのか、お聞かせください。

⇒泉区社会福祉協議会の中に事務局を置く、泉区シニア（老人）クラブ連合会の事務局長をしています。泉区の65歳以上の人口は40635人（高齢者比率26%）その中の約6500人（女性6割）が当シニアクラブ連合会に属しています。健康、友愛、奉仕を三大運動として掲げ、生きがい、健康、仲間、地域づくりを目指しています。特に力を入れているのは友愛活動で、一人暮らしの高齢者の方への声かけ、見守り、話し相手ら、高齢者どうして助け合いをします。一人暮らし高齢者の孤立防止として外出の機会を増やすため、集いの場、友愛サロン等、地域の人と出会う居場所を作っています。そこでは地域の情報（行事）などを伝え、また日常生活の支援が必要な高齢者の実態を把握し、支え合いの輪を広げる活動をしています。奉仕活動としては地域の清掃、パトロール、特に子どもたちの登下校の安全を見守り、時には学校で体験学習の出張授業をしたり、より豊かな人間関係を育める環境、地域づくりに貢献しています。このような活動を推進することが高齢者自身の生きがいとなり、私自身にとっても大きな喜びや生きがいとなってきました。

▲当教会も信徒の高齢化が進んでいます。今後教会とどのように関わっていきたいと考えておられますか？

⇒一番気になるのは教会の建物の老朽化に伴う再建のことです。今教会の再建を考える会が立ち上がっています。現状に合った方法を検討することは勿論大切ですが、一つ提案があるとすれば戸塚教会から別れて、当教会を建てた当時のやり方も参考になるのではないかと思います。信徒の数が減少する中、本当に再建などできるのだろうかという懐疑的な考えがあるかもしれませんが、やり方次第によっては全く希望がないわけではないと思っています。

▲最後に好きな聖句はありますか？

⇒罪深い女が連れて来られた時イエス様が「あなたたちの中で罪を犯したことの無い者が、まず、この女に石を投げなさい」と言う箇所です。現実社会の中で生きる時、キリストの教えに照らし合わせると厳しく判断しがちですが、批判する心が起こった時は、このみ言葉を思い起こします。現役の時も現在活動している中でもこのような教えが潤滑油となり助けになっていると感じます。

巡礼に参加して

10月7日参加者26名で絶好の秋晴れのもと所沢教会、川越教会と巡礼をしてきました。朝第三京浜の自動車事故があり出発が30分遅れたが途中道路の混雑もなく予定通り所沢教会に到着。所沢教会の信徒の方々に出迎えていただき、日野神父によるミサにあずかりました。所沢教会は1997年2月に聖堂が献堂され、建築費用は近隣教会と教区から借用したそうですが、5年前に全額払い終わったそうです。聖堂は200名くらい入れる木目調で天井が高く、落ち着いてゆっくりと静かに神と向かい祈りが出来る場所になっていると思いました。

和食の昼食をいただき川越教会に行きました。加藤神父が出迎えてくれました。聖堂は献堂25年になるそうです。埼玉県内で神父が在中する教会としては一番古い教会だそうです。パリミッション会が運営していたので歴代の神父はフランス人でしたが、日本人の神父は加藤神父が始めてだそうです。川越教会の建物は上から見ると鳥が羽を広げた形になっているそうです。

川越教会をあとにして川越の町を散策して帰路に着きました。私たちの教会をどうするか、今後検討していくのに参考になりました。（井上 昭男）



バザー

10月25日（日）晴天のお恵みの下で、バザーが開催されました。

ご来場いただいた皆様、ご奉仕いただいた皆様、ありがとうございました。



信徒の会より講演会のお知らせ

11月29日（日）ミサ後10時半より 会場：中和田教会新集会室

～我が家に天使がやってきた～ 「詩人服部剛氏による講演と朗読のひととき」

- ・ダウン症を持つ息子周ちゃんのお話と詩の朗読
- ・服部氏が影響を受けたカトリック哲学者小野寺功氏の聖霊論

◎お話の後、服部さんご家族を囲んでお弁当を頂きながら分かち合いも予定しています。

お弁当をご希望の方はまとめて注文しますのでお知らせください。

問い合わせ・申し込み 中和田教会 045-803-6141 今井 暁子 akeybox@hotmail.co.jp

典礼Gからのお知らせ

既にカトリック新聞にも解説が連載されていますが、「ローマ・ミサ典礼の総則」（日本語訳）の改訂に伴って典礼の一部変更の教令が布告され、11月29日から施行されます。

中和田教会でも数回に亘って教令の読み合せや話し合いを行いました。その結果、『信徒の所作に関しては、従来からの中和田の方式で概ね齟齬がない』ことは確認しましたが、この機会に、中和田教会として（今回の教令に関係しない点も含みますが）下記の諸点を変更することとして日野神父様のご承認を頂きました。

信徒各位には、格別のご理解とご協力をお願い申し上げます。

(1) 第一、第二朗読後に、朗読者が『主のことば』と唱え、会衆が『神に感謝』と応唱する

（従来は、朗読後に侍者が「神に感謝」と唱え、会衆も同じく「神に感謝」と唱えていた）

(2) 侍者が、直接パンとぶどう酒を祭壇に置くことは禁止

(3) 共同祈願を唱える人は、前方会衆席にて、マイクを使用して唱える

《補足》

- ・アレルヤ唱については従来通りとする。即ち、始めのアレルヤから終わりのアレルヤまで、会衆が全てを歌う。
- ・感謝の典礼：「御からだ」と「御血」に対する拝礼について

司祭が「御からだ」と「御血」を高く掲げたときは、信徒もそれを仰ぎ見る。そして、司祭がそのあとで拝礼したときに、信徒も深く拝礼する。これらの所作が基本であることに留意する。

今回の教令のポイントは、前掲「ローマ・ミサ典礼の総則」の第2版から第3版に改訂されたことにありますが、その核心は典礼憲章14項に述べられている『すべての信者が、十全に、意識的かつ行動的に典礼祭儀に参加する』ことにあります。

所作の細部に捉われ過ぎて、「木を見て森を見ず」とならないように、中和田共同体全体で基本を見据えて進んでいきたいと念じております。

（小野 雅彦）



委員会だより

(文中敬称略)

△10月11日(土) 13名出席▽

■日野神父様のお話

・私は10月19日(23日まで)黙想会で留守にしますので、バザーのお手伝いは、あまりできませんが、よろしくお願いします。

■各グループからの報告

●信徒の会(今井)

・10月7日(水)に巡礼バスツアーを実施しました。楽しいツアーになったこと、ありがとうございます。
・11月29日(日)に、服部剛さんの講演会を行う予定です。

●行事(武石)

・9月13日に敬老の日のお祝いパーティーを行ったが、連絡ミスでお手伝いの方が少なかった。御招待者7名のうち、2名参加された。

・クリスマスは、12月24日のミサ後はお菓子を配る。ベトナムの方々と相談する。25日は茶話会をする。

●バザー委員会(小野(和))

・準備は順調に行われている。今年は、バザー券の賞品の高額のものが増えた。

・調理食品について、保健所の作業基準が今迄よりも厳しくなった。

●総務(上野)

・10月のスケジュール確認。
・事務室の書類ケースを各部で点検してほしい。

●広報(武田)

・原稿依頼(締切10月21日)

●福祉(楠田)

・ホームレス支援のためのお米、梅干しを戸塚教会に送った。

●要理(森脇(彰))

・9月の敬老パーティーで、歌を披露した。

・11月は、第3、4週で活動の予定。

●宣教(岩崎)

・明日の一粒会大会は、神父様他5名参加の予定。

・泉区民クリスマス会の今年度分担金2万円を承認いただきたい。↓承認

・9月からの入門講座は、受講者8名でスタートした。

●典礼(小野)

・9月13日に敬老祝福ミサが行われた。来年以降も例年通りに行う。

・10、11月の典礼暦確認。

・バザー準備日の主日ミサは、午後3時30分に決定。

・七五三の祝福は、11月8日の中和田教会主日ミサに加えて、11月15日の戸塚―原宿―中和田3教会合同ミサ(共同司式の野外ミサ)でも実施する。

・新しい「ローマ・ミサ典礼書の総則」に基づく変更については、現在の中和田方式で概ね準拠しているので、大きな変更はないが、細かい所作の変更がある。

・各地区の典礼奉仕活動へのアンケート

ト回答をお願いした。

・葬儀打合わせシートの書式を改定した。

●副委員長(岩崎)

・第5地区共同宣教司牧委員会に出席した。

①一粒会祈りのリレーは、11月―中和田教会

②横浜教区懇談会が9月26、27日軽井沢にて開催された。

③第5地区防災について。

・災害時、各小教区は災害の状況を大船教会に報告する。

④各小教区からの報告。

⑤部門報告。

・2月に鍛冶ヶ谷教会で、祈りのワークショップを開催予定。

・11月7日(土) 中和田教会で湘南キリスト教セミナー開催。

■その他報告事項

・月修配布資料が、配布された。

■討議事項

1. 湘南キリスト教セミナー(11月7日)について。

・外部の方むけに、パンフレットを教会入口のあたりに用意する。

・当日立場駅から教会までの要所に看板を持って立つ5名、受付に2名、茶話会用意に数名、写真撮影者など、の手伝いを事務局から依頼された。係の人選は地区集会にて決める。

・講師控室、講演後の茶話会の場所を

用意する。

2. 教会合同ミサ(11月15日・原宿教会)について。

・第2朗読1名、共同祈願1名、侍者1名が依頼された。

・当日は11時なので、中和田教会のミサ後、原宿教会まで皆で車に合い乗りして行く。

■その他

・12月の巡礼は、神父様お一人で行かれる。8日出発、17日に帰国される。これに伴い無原罪の聖マリアの祝日ミサは前日7日(月) 18時に行う。
・待降節の黙想会は、内藤聡神父様に来ていただく。以上

(次回委員会 11月8日)

教会からのお知らせ

■計報

次の3名の方々が帰天されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

・9月30日 ルカ

船水奎吾さん

・10月2日 ペトロ

松田達也さん

・10月11日 アロイジオ 武田 安光さん

(総務G)

